

平成28年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月4日

上場会社名 株式会社デイトナ 上場取引所 東
 コード番号 7228 URL http://www.daytona.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)織田 哲司
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)杉村 靖彦 (TEL)0538(84)2200
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成28年12月期第3四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年9月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第3四半期	4,529	4.5	304	44.2	283	40.1	182	55.6
27年12月期第3四半期	4,333	0.6	211	△21.6	202	△26.2	117	△27.7

(注) 包括利益 28年12月期第3四半期 182百万円(71.9%) 27年12月期第3四半期 106百万円(△34.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第3四半期	86.58	85.41
27年12月期第3四半期	55.68	55.33

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第3四半期	4,556	2,054	44.9
27年12月期	4,308	1,897	44.0

(参考) 自己資本 28年12月期第3四半期 2,048百万円 27年12月期 1,897百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	0.00	—	15.00	15.00
28年12月期	—	0.00	—		
28年12月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,218	6.6	325	23.4	323	23.0	220	—	104.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社(社名) 、除外 社(社名)
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年12月期3Q	3,604,600株	27年12月期	3,602,600株
② 期末自己株式数	28年12月期3Q	1,497,972株	27年12月期	1,497,972株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年12月期3Q	2,105,992株	27年12月期3Q	2,104,628株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する根拠のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の下振れ懸念や円高傾向が継続など、景気の先行き不透明感が高まる状況でした。

二輪車業界では、バイクシーズンも最盛期を迎え、各地で多くのライダーの姿を見かけるとともに、イベントも活発に開催されました。

当社グループにおいては、国内拠点卸売事業および小売事業は前年同四半期を上回る売上高となり、連結でも売上高および各利益が前年同四半期を上回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は45億29百万円（前年同四半期比4.5%増）、営業利益は3億4百万円（前年同四半期比44.2%増）、経常利益は2億83百万円（前年同四半期比40.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億82百万円（前年同四半期比55.6%増）となりました。

[国内拠点卸売事業]

国内拠点卸売事業においては、ツーリング関連用品、メンテナンス用品などの商品が好調に推移しました。販路ではWeb通販業者向けへの販売が引き続き伸長しております。この結果、売上高は31億87百万円（前年同四半期比4.2%増）、セグメント利益は3億17百万円（前年同四半期比18.8%増）となりました。

[アジア拠点卸売事業]

当初予定から補修、消耗品の供給の遅れが若干あり、売上高は97百万円（前年同四半期比3.1%減）、セグメント損失は0.3百万円（前年同四半期はセグメント損失15百万円）となりました。

[小売事業]

小売事業では、9月は雨が多く前年同月の売上高を割り込みましたが、累計では売上高の改善傾向が続いております。利益面でも、販売管理費の削減により改善傾向が見られます。この結果、売上高は12億91百万円（前年同四半期比5.8%増）、セグメント損失は19百万円（前年同四半期はセグメント損失50百万円）となりました。

[その他]

太陽光発電事業は現在デイトナ本社に設置した800kWと、8月末から新たに静岡県沼津市の太陽光発電所（500kW）が稼働を始めました。この結果、売上高は36百万円（前年同四半期比10.1%増）、セグメント利益は新たな発電所の減価償却費が増加したことで8百万円（前年同四半期比20.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ4.6%増加し、25億47百万円となりました。これは、現金及び預金が1億51百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が80百万円、たな卸資産が1億81百万円増加したことなどによります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末に比べ7.3%増加し、20億8百万円となりました。これは、有形固定資産が1億46百万円増加したことなどによります。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ2億48百万円増加し、45億56百万円となりました。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ13.7%増加し、18億27百万円となりました。これは、短期借入金が1億75百万円増加したことなどによります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べ16.0%減少し、6億74百万円となりました。これは、長期借入金が47百万円、社債が69百万円減少したことなどによります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ91百万円増加し、25億1百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ8.3%増加し、20億54百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想については、現時点で売上高はおおむね予想通りの推移となっております。営業利益、経常利益、親会社に帰属する四半期純利益については、やや予想を上回る推移となっておりますが、修繕費などの費用発生のズレ込みもありますので、現段階において当初予想の修正はございません。

しかしながら今後の為替の状況、二輪車の特性上、天候による影響、また、経済環境の不確定要因により、業績への影響が発生する場合がございますので、今後の状況を勘案しながら、必要に応じて修正発表をまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第2四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	579,838	428,253
受取手形及び売掛金	427,816	508,277
たな卸資産	1,258,891	1,440,260
その他	175,654	177,673
貸倒引当金	△6,437	△6,523
流動資産合計	2,435,764	2,547,941
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	666,947	638,915
土地	864,305	863,532
その他(純額)	243,970	419,257
有形固定資産合計	1,775,222	1,921,705
無形固定資産	66,134	58,664
投資その他の資産		
その他	31,724	29,416
貸倒引当金	△805	△805
投資その他の資産合計	30,918	28,610
固定資産合計	1,872,276	2,008,980
資産合計	4,308,040	4,556,922

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	259,151	400,956
短期借入金	921,587	1,097,488
未払法人税等	98,622	69,281
賞与引当金	21,013	48,454
その他	307,725	211,814
流動負債合計	1,608,100	1,827,994
固定負債		
社債	69,280	-
長期借入金	670,589	622,949
退職給付に係る負債	2,713	1,101
その他	60,024	49,953
固定負債合計	802,606	674,003
負債合計	2,410,706	2,501,998
純資産の部		
株主資本		
資本金	412,454	412,454
資本剰余金	341,182	341,182
利益剰余金	1,908,955	2,059,733
自己株式	△747,130	△747,130
株主資本合計	1,915,462	2,066,241
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	27	-
為替換算調整勘定	△18,156	△18,075
その他の包括利益累計額合計	△18,128	△18,075
新株予約権	-	6,757
純資産合計	1,897,333	2,054,923
負債純資産合計	4,308,040	4,556,922

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
売上高	4,333,545	4,529,444
売上原価	2,687,990	2,797,739
売上総利益	1,645,554	1,731,704
販売費及び一般管理費	1,434,159	1,426,967
営業利益	211,394	304,737
営業外収益		
受取手数料	7,170	7,944
試作品等売却代	8,759	5,626
その他	6,744	7,742
営業外収益合計	22,674	21,313
営業外費用		
支払利息	12,491	9,842
為替差損	15,351	28,374
その他	3,695	4,105
営業外費用合計	31,538	42,322
経常利益	202,530	283,728
特別利益		
固定資産売却益	307	625
特別利益合計	307	625
特別損失		
固定資産売却損	36	-
固定資産除却損	-	22
賃貸借契約解約損	1,255	1,074
事業譲渡損	-	979
特別損失合計	1,291	2,076
税金等調整前四半期純利益	201,547	282,277
法人税、住民税及び事業税	115,795	122,460
法人税等調整額	△22,276	△22,549
法人税等合計	93,518	99,911
四半期純利益	108,028	182,366
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9,169	19
親会社株主に帰属する四半期純利益	117,198	182,346

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	108,028	182,366
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	—	△27
為替換算調整勘定	△1,899	61
その他の包括利益合計	△1,899	34
四半期包括利益	106,128	182,400
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	115,307	182,380
非支配株主に係る四半期包括利益	△9,178	19

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年3月24日 定時株主総会	普通株式	29,464	14.00	平成26年12月31日	平成27年3月25日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年3月24日 定時株主総会	普通株式	31,569	15.0	平成27年12月31日	平成28年3月25日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	国内拠点 卸売事業	アジア拠点 卸売事業	小売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,998,308	81,720	1,220,565	4,300,595	32,950	4,333,545	—	4,333,545
セグメント間の内部 売上高又は振替高	60,579	19,141	187	79,908	—	79,908	△79,908	—
計	3,058,888	100,861	1,220,753	4,380,503	32,950	4,413,454	△79,908	4,333,545
セグメント利益又は損失 (△)	266,771	△15,747	△50,827	200,197	10,933	211,130	264	211,394

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額264千円は、セグメント間取引消去763千円、たな卸資産の調整額△1,214千円、固定資産の調整額673千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	国内拠点 卸売事業	アジア拠点 卸売事業	小売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,129,345	72,418	1,291,418	4,493,182	36,261	4,529,444	—	4,529,444
セグメント間の内部 売上高又は振替高	57,887	25,301	70	83,259	—	83,259	△83,259	—
計	3,187,232	97,719	1,291,489	4,576,441	36,261	4,612,703	△83,259	4,529,444
セグメント利益又は損失 (△)	317,038	△346	△19,227	297,464	8,645	306,110	△1,372	304,737

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,372千円には、セグメント間取引消去111千円、たな卸資産の調整額△1,987千円、固定資産の調整額500千円等が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。